報道関係者各位

2014 年 12 月 2 日
株式会社アマナ

オタク文化、サブカルチャー市場の拡大を背景に
専門分野特化型のチーム「アマナ異次元」を発足
“サブカル”を軸に広告・プロモーションをトータルサポート

ビジュアル・コミュニケーション事業を展開する株式会社アマナ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：進藤博信）はこの度、サブカルチャーを軸に戦略的な広告、プロモーションの企画から制作までを一手に担う専門チーム「アマナ異次元」を発足しました。2014 年 12 月より本格的に始動します。

■ アマナ異次元について

サブカルチャーを得意分野とする社内のプロデューサーやクリエイターによって組成された「アマナ異次元」は、アイドルやアニメなどの“オタクカルチャー”を切り口に、広告のみならず新規コンテンツ含め、クリエイティブやプロモーション領域を中心に企画から制作までをワンストップで提供する専門チームです。当社グループには年間 1 万件を超える広告ビジュアルの制作実績、100 を超えるソリューションブランドがあります。これら経営資源や人的ネットワークをフルに活用し、日本が世界に誇るサブカルチャー市場拡大の起爆剤となるべく事業を展開していきます。

「“サブカル”や 2D、3D アニメで自社の商品情報を拡散させたい。」「既存キャラクターの商品化やプロモーションを考えている。」などのご要望に対して、これまでの広告実績とオタクの思考回路を掛け合わせ、“異次元”な物事に変えていく「WOTAKU IJIGEN SOLUTION」をコンセプトに、ストーリー設計からメディアプランの策定、コンテンツ開発までトータルにサポートします。



キービジュアル
（人物はチームスタッフ）

■ オタク文化、サブカルチャー市場の拡大

昨今、オタク文化やサブカルチャーの領域は広がりを見せており、ファン層やジャンルも多岐にわたります。今では「オタク」や「アニメ」は世界共通語であるとも言われており、日本のオタク文化は世界にも浸透。市場規模も年々右肩上がりに伸びており、オタク文化を象徴するイベントには日本の国技と言われる“大相撲”が参入し、他にも大手企業のプロモーション例も増加しています。こうした市場背景を踏まえ、アマナが強みとするビジュアル・コミュニケーションの新たな領域として着手することになりました。

amana
▼報道関係者からのお問い合わせ先
株式会社アマナ　コーポレートコミュニケーション室　林／有吉
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-43　Phone 03-3740-3500　FAX:03-3740-4345　e-mail: cc@amana.jp

■ アマナ異次元概要



チーム名称: アマナ異次元

スタッフ: プランナー＋映像ディレクター＋プロデューサー（2 名）

リーダー: ハッシー橋本（プランナー兼クリエイティブディレクター）

略歴: 放送作家を経て、広告全体のコミュニケーションデザインを考えるプランナー兼クリエイティブディレクターとして活動。家電・機器、食品、スポーツメーカー、美容、エネルギー、幅広いクライアントの CM、プロモーション、WEB、 イベントなど手法にこだわらない広告展開を実施。

メインスタッフ: 篠田利隆（映像ディレクター）

略歴: 映像ディレクション中心に企画からライブなど舞台演出まで実施。近年の実績として、でんぱ組 × チュッパチャプス CM、私立恵比寿中学「梅」MV、初音ミク「V プリカを探して！」、ユピテル「霧島レイ PROJECT」、Serph ライブ総合演出、妄想キャリブレーション「悲しみキャリブレーション」MV など。

問い合わせ先: 株式会社アマナ内 アマナ異次元担当
滝沢明日香（プロデューサー）
080-2082-8226

株式会社アマナ 会社概要

代表者	代表取締役社長 進藤博信
所在地	東京都品川区東品川 2-2-43
設立	1979 年 4 月
資本金	10 億 9,714 万円
証券コード	東証マザーズ 2402
売上高	（連結）187 億 17 万円※2013 年度 12 月期実績
従業員数	（単体）473 名／（連結）1,166 名 ※2014 年 4 月 1 日現在
事業内容	ビジュアル・コミュニケーション事業、エンタテインメント映像事業
URL	http://amana.co.jp/

▼報道関係者からのお問い合わせ先
株式会社アマナ コーポレートコミュニケーション室 林／有吉
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-43 Phone 03-3740-3500 FAX:03-3740-4345 e-mail: cc@amana.jp